# 西日本豪雨復興支援に感謝

公益財団法人　YMCAせとうち
理事長　正野　隆士
総主事　太田　直宏

2018年7月6日未明、倉敷市真備地区をはじめ岡山県下各地に集中豪雨による大災害が発生しました。歴史上過去数十年なかった程のものでした。

YMCAせとうちは、2018年9月に40名の被災児童を招待して、第1回目のリフレッシュキャンプを神戸YMCA余島野外活動センターで実施しました。その後、冬のキャンプに60名のこどもたちを、そして今年のGWには103名の子どもたちを第2回目のリフレッシュキャンプに招待することができました。また、2019年4月からは真備町内で、毎週定期的に子どもたちや被災地の方々を交え、心の通う支援活動「真備こどもプロジェクト」が始まりました。

YMCAせとうちとしてこのような支援活動が実施出来たのは、西日本区や岡山クラブ、各地のワイズメンズクラブをはじめ日本YMCA同盟や全国Yのご協力のお陰です。
心よりお礼申し上げます。

YMCAせとうちの出来ることはささやかですが、被災地に灯りを、子どもに温かい心が宿ることを祈りながら、これからも被災支援を続けて行きたいと思います。ご協力をお願いします。

保護者の感想の一例

- 不安もある中送り出しました。帰って話を聞くと、「知らない人とも友達になれた！１番カヤックが楽しかった。またやりたい！」と行く前とは違った答えが返ってきました。沢山我慢やストレスがある中、とてもリフレッシュできたと思います。
- 被災という人生は初の経験をしましたが、皆様のお陰でこうしてまた子どもの笑顔を見ることが出来て感謝しております。まだまだ不自由なことはありますが、子ども共々前向きに進んでいけます。

倉敷市真備地区豪雨被災直後

# 支援活動

台湾からもご参加いただきました

現地ボランティア活動

豪雨被災児童支援リフレッシュキャンプ

スキーキャンプ

支援頂いた団体

ワイズメンズクラブ西日本区、台湾区、瀬戸山陰部、岡山クラブ、日本YMCA同盟、姫路YMCA、岡山キリスト災害支援室、CWS、Give2Asia、下電観光㈱、リョービツアーズ、鉢伏高原ホテルかねいちゃ、秀山荘、ミールオンデマンド、ベッキオバンビーノ実行委員会、神戸余島野外活動センターほか

経費　約 950 万円